

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年12月16日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4697000034
法人名	医療法人 坂元内科クリニック
事業所名	グループホーム すまいる
所在地	鹿児島県曾於郡大崎町永吉8355番地2 (電話) 099-471-7250
自己評価作成日	令和5年11月11日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年12月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「すまいる」の名前の通り毎日を明るく笑顔で入居者も職員も過ごす事ができるように援助しています。医療法人が母体である利点を活かし体調管理にも気を配っています。入居者の方が穏やかに生活を送る場所として、菜園で出来た作物を使って食事を提供したり、季節の行事や食事会等を提供しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は母体である医療施設に設置しており、看護師の配置をして、日常の健康管理や緊急時の対応など24時間体制が整っており医療面での安心感につながっている。
- ・職員間や管理者・代表とのコミュニケーションが良好で、スムーズな業務改善が図られている。資格取得、研修会参加への支援、完全休憩時間の確保等、働きやすい職場環境づくりに努めている。離職者も少なく理念である毎日を「笑顔」で楽しく自分らしくゆったりと暮らしましょうの実践につながっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	玄関や室内の目に付くところに理念を提示し、自分たちのケアの振り返りが出来るように努めている。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念、基本方針をパンフレットに掲載し、玄関や職員トイレ等、目につきやすい場所に掲示している。ミーティングや職員会議時、年度末など振り返りを行い理念に沿ったケアの実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域の自治会に加入し、運営推進会議には、地域代表者の方にも参加していただき、双方の交流ができるように心掛けている。	自治会に加入、災害時に備え、施設見取り図を公表している。避難訓練時には地域へ周知している。利用者は地域の方が多く近隣の友人の面会がある。以前は野菜等の差し入れがあったが、コロナ対策で遠慮されている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	コロナ禍の為地域に貢献できていない。認知症への理解を拡げるため地域の人々に向けた活動を行いたい。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的な会議の場で写真・資料に加え日常の事なども課題としてより具体的な取り組みができる場としてサービスに活かしている。	会議では入居者状況・活動状況報告などを行い、意見交換している。ヒヤリハット・事故報告について事例で紹介して欲しいとの要望があり事例での報告も行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>介護保険更新時や必要に応じて、電話や窓口に出向き相談や情報を交換している。</p>	<p>運営推進会議への参加時の報告や更新手続き、相談等が出向いたり電話で連携している。保護課とも情報交換を行い、協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束禁止の宣言を玄関に掲示し職員間でもヒヤリハット・事故などの対応の仕方を協議する際に身体拘束にならないケアとして提供できるよう確認している。</p>	<p>指針・マニュアルがあり、身体拘束禁止の宣言を玄関に掲示している。年1回の研修と委員会を3ヶ月毎に開催し、確認と意識の統一を図っている。言葉による拘束も含め身体拘束ゼロを実践している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>施設内研修を繰り返し行い、虐待を見過ごすことがないように虐待防止に取り組んでいる。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見制度などについて学ぶ機会を設け、必要時は専門家への相談も含め対応を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には家族の方の理解度に合わせ十分な説明を行う。疑問点については細かく説明ができる様に努めている。後日の疑問や不安点などもその都度答えられるようにしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関に意見箱を設置しているがそれ以外で家族からの話や要望などについてもその都度早急に改善や変更などの対応を行っている。</p>	<p>利用者からは日頃の会話の中から意見や要望を把握している。食べ物についての希望が多く、行事食や月2回のおやつ作り等に対応している。家族からは電話連絡や面会時に聞くよう心掛けている。面会についての希望や相談が多い。玄関に意見箱も設置している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月のミーティングだけではなく、その都度職員の意見や提案などを聞いている。</p>	<p>ミーティングや会議を通して意見や要望を聞く機会がある。代表が主治医であり往診時に職員への声かけや直接意見を言える環境である。ケアに関する要望や意見が多く、シャワーチェアの購入や有給取得について等で就業改善につながっている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職場の環境や給与等の状況なども考慮され、徐々に整備されている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修の参加を個人の能力に合わせ設定し、内容も職員間で共有し、職員全体のスキルの向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>大崎町内事業所間のネットワークにも参加し大隅グループホーム協議会にも加盟し交流を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>サービス利用前に訪問を行い、本人のお話を聞き意見や要望などをくみ取れるように努めています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>申し込みを行う際の必要事項だけでなく、ご家族の心配事、ご意見などを聞くように心掛けています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居の申し込みの際には本人やご家族の要望・希望などを聞き、適したサービスを提供できるようご本人へ対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>日々の生活の中で本人の意思を大切に充実した生活を行って頂けるよう私たちも共に共同生活の一員として感じてもらえるような関係作りを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族に面会などの協力も得ながらより良い関係を築けるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍の影響で、入居者の外出機会は病院受診の際に限られている。面会制限はあるものの可能な限り希望に沿えるよう支援している。	コロナの影響で面会は玄関で短時間行っている。家族や近所の友人等の面会は可能な限り支援している。外出は医療機関受診時に自宅周辺へのドライブをして楽しんでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	座席を配慮し、体操やレクリエーション、テレビ鑑賞などで入居者同士それぞれが関われる時間を作っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後なども必要に応じて状況を勘案し支援していくように努める。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中で本人が表現される内容や本人の意思・希望を把握できるようにしている。	入居時のアセスメント、家族からの情報、入浴時や夜勤・昼食後などの世間話等から、思いや希望を把握している。困難な場合は生活歴や家族からの情報、表情やしぐさ等を基に職員で話し合い、本人の思いに沿った支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の情報だけではなく本人、家族、職員が普段持ち得た情報を共有しこれまでの暮らしを理解できるようにする。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の状況や様子などを入居時と比べながら記録し、現状の把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月の写真入りのモニタリングを担当職員の行ったモニタリングを補足する形で作成し現状に即したプランを家族を含め関係者と話し合いながら作成する。	本人や家族の思い、主治医の意見等を参考に介護計画を作成している。利用者の担当が決まっており、毎月、写真入り記録を作成し、3ヶ月毎のモニタリングと6ヶ月毎の見直し、必要に応じて随時、現状に即した介護計画となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人記録には日々の様子やケアなどを分かりやすく記載し職員間で共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人、家族の要望などにできる限り沿えるように画一的でない個別の対応ができるように支援している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進会議に地域代表の方にも参加して頂くようにしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居時より当施設の理事長が主治医として定期的な往診もあり健康管理も行われている。専門医の受診はご家族の意見も尊重しながら適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居者は近隣の方が多く母体医療機関が主治医である。月2回の往診の他、必要時には随時、24時間体制で連携を図っている。専門医の受診は看護師が付き添い、情報を共有する等、適切な医療を受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日々の生活の中で状況の変化等は看護師と共有しその都度受診し適切な医療を受けられるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には退院後の生活を見据えてご家族、病院関係者と情報を共有しスムーズに生活が継続できるようにしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に希望された方については、協力機関の契約を結んでいる特別養護老人ホームへの申し込みの説明も行っている。当事業所で重度化でも対応できる事柄などについても説明を行っている。</p>	<p>重度化や看取りに関する指針があり、契約時に家族に説明、希望に応じて特別養護老人ホーム申し込み等、紹介している。状況に応じて主治医より説明、看取りの事例もあり家族の意向に沿った対応を行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時の対応や事故発生時の訓練を行っており、今後も継続して行う。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練を年2回計画し、今後も行っていく計画である。地域との協力体制は徐々に築いていけるように努めていきます。</p>	<p>年2回、うち1回は消防署立ち合いで夜間想定での避難訓練を実施している。近隣へは施設見取り図を公開し、避難訓練の実施のお知らせを行っている。缶詰やレトルト食品・ご飯・水等の備蓄を完備し、停電用の発電機の準備もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者個人の人格を尊重し、丁寧な言葉かけを行えるように努めている。	マニュアルを基に毎年4月に接遇の研修を実施している。利用者の前では部屋番号で情報共有、一人ひとりの人格を尊重し誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応で支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で本人が自分の思いや希望を表現しやすい関係ができるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活パターン・ペースを尊重し、毎日を快適に過ごせるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	服装は毎日の整容で整え本人の希望に沿えるように支援している。また訪問理容などを利用している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は管理栄養士が立てた献立に沿ってバランスの取れた食事を提供できるようにしている。	2年前から宅食サービスを利用、管理栄養士の献立でバランスの取れた食事となっている。食事形態については職員が対応、行事食やおやつ作りなど随時取り入れて楽しく食事を提供している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事チェック表に水分・食事摂取量を確認し一人ひとりに合わせた介助方法を工夫し支援を行っている。</p>			
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後の口腔ケアは本人の能力に応じた援助を行っている。その際、残歯や義歯の状態を確認すると共に定期的な歯科医、歯科衛生士の往診にてケアを行っている。</p>			
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄チェック表を活用し、一人ひとりの排泄パターン、回数等を把握し個々の能力を最大限に引き出す援助を行っている。</p>	<p>排泄チェック表を活用し、昼間はトイレでの排泄を基本としている。夜間はおむつ使用者やポータブルトイレ排泄支援を行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>毎朝、ヨーグルトや繊維質の食物を取り入れた食事の提供、水分の摂取や運動量などにて予防に取り組んでいる。</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は決まっているも、ご本人が望まないときは変更している。浴槽へは入浴剤を使用してリラックスできる様環境を整えている。	入浴は週2回、午前や午後を実施、希望に沿った時間帯で入浴支援を行っている。脱衣場や浴室の温度調整や入浴剤を使用して入浴を楽しんでいる。状況に応じてシャワー浴や陰洗・足浴等を実施している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人の希望に沿う形で睡眠や休息ができる様な環境作りに努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師による薬の説明を職員に行い、臨時薬など状態の変化は個人記録に残すなど変化の把握に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物やおしぼりなどをたたんだり、丸めたりすることで張り合いや喜びを感じて頂けるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナ禍でなかなか現在は外出出来ていない。	体調や天気の良い日には駐車場内の散歩を行っている。コロナ感染対策で行事や外出の自粛がある。医療機関受診時にミニドライブを兼ねて気分転換している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>現在お金の管理を行っている方はいない。今後希望に応じて所持できるように支援する。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話など希望の際や贈り物のあった時などには電話できるように支援している。遠方のご家族にも新聞や写真などをお送りし関係が離れないよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>適度な広さと明るさもあり、歩行でも車いすでも十分に行き来できる環境を整えている。木造建築の温かみが家庭的な雰囲気を醸し出している。</p>	<p>共用空間は木造で広く明るい雰囲気となっている。大きな窓と2ヶ所のウッドデッキ、畳スペースがあり、空気清浄機が置かれ温度・湿度・換気に配慮し、ソファやそれぞれの好みの場所で過ごしている。季節の物や花を飾り、居心地よく過ごせる環境となっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共同空間の中で入居者の関係性も考慮しつつ、個人にあった居場所の確保作りを日々工夫している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室の中は家族との思い出の写真、誕生日等の贈り物などを持ち込み居心地の良い空間を提供できるように工夫している。居室においても転倒防止の為滑り止めをつけるなどの工夫している。</p>	<p>居室にはエアコン・ベット・洗面台・クローゼットが設置されている。各自が布団・テレビ・家族の写真等を持ち込み、必要に応じてすべり止めマットを設置し、安全で快適に過ごせるよう配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>一人ひとりの能力を活かして出来るだけ安全に過ごせるよう状況に応じた工夫・対応をしている。建物内部は四季をレイアウトして目で楽しんで頂けるように工夫している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない